

京田辺市複合型公共施設 整備基本構想検討懇話会

<第2回>

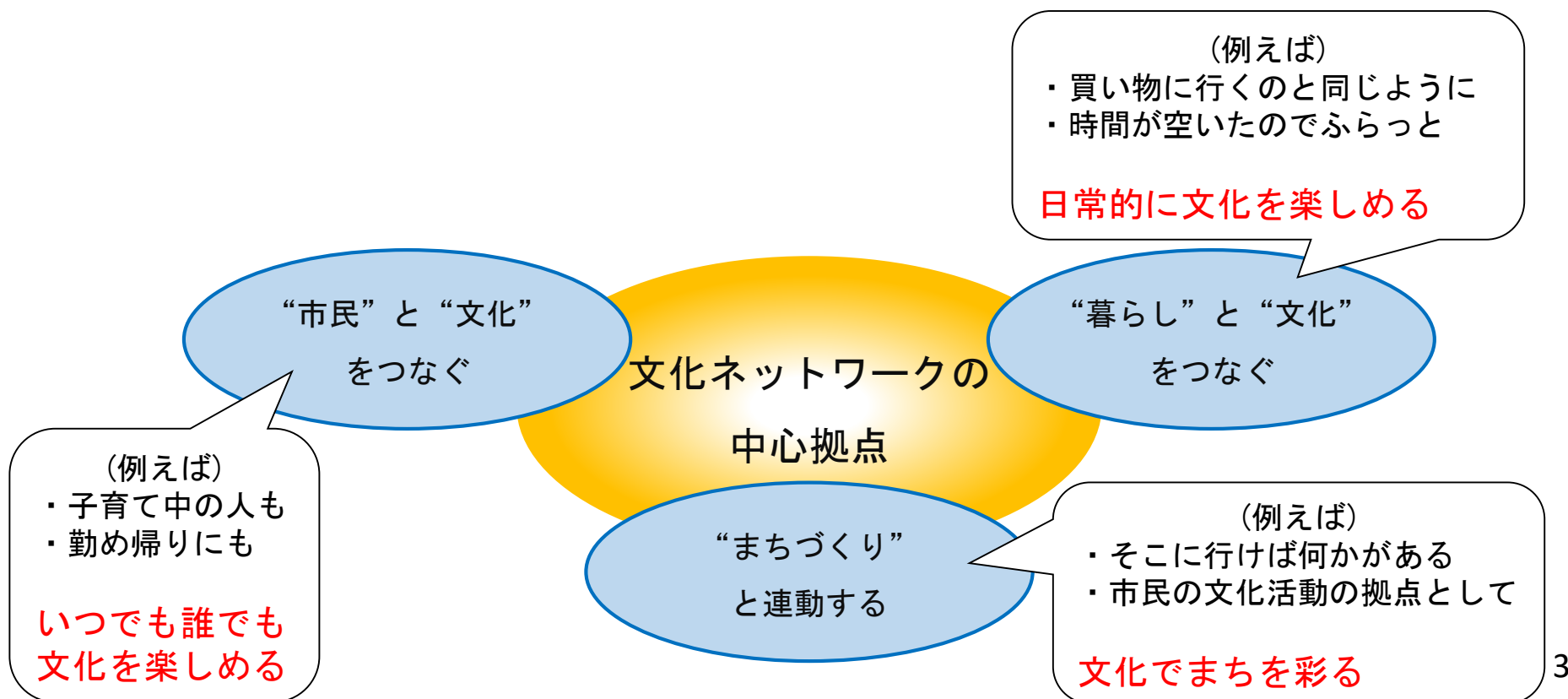
複合型公共施設のあり方

複合型公共施設整備の基本的な方向性

複合型公共施設は、「誰でもいつでも気軽に文化に触れ、活動できる環境づくり」の中心的役割を担います。

京田辺市の文化ネットワークの中心拠点

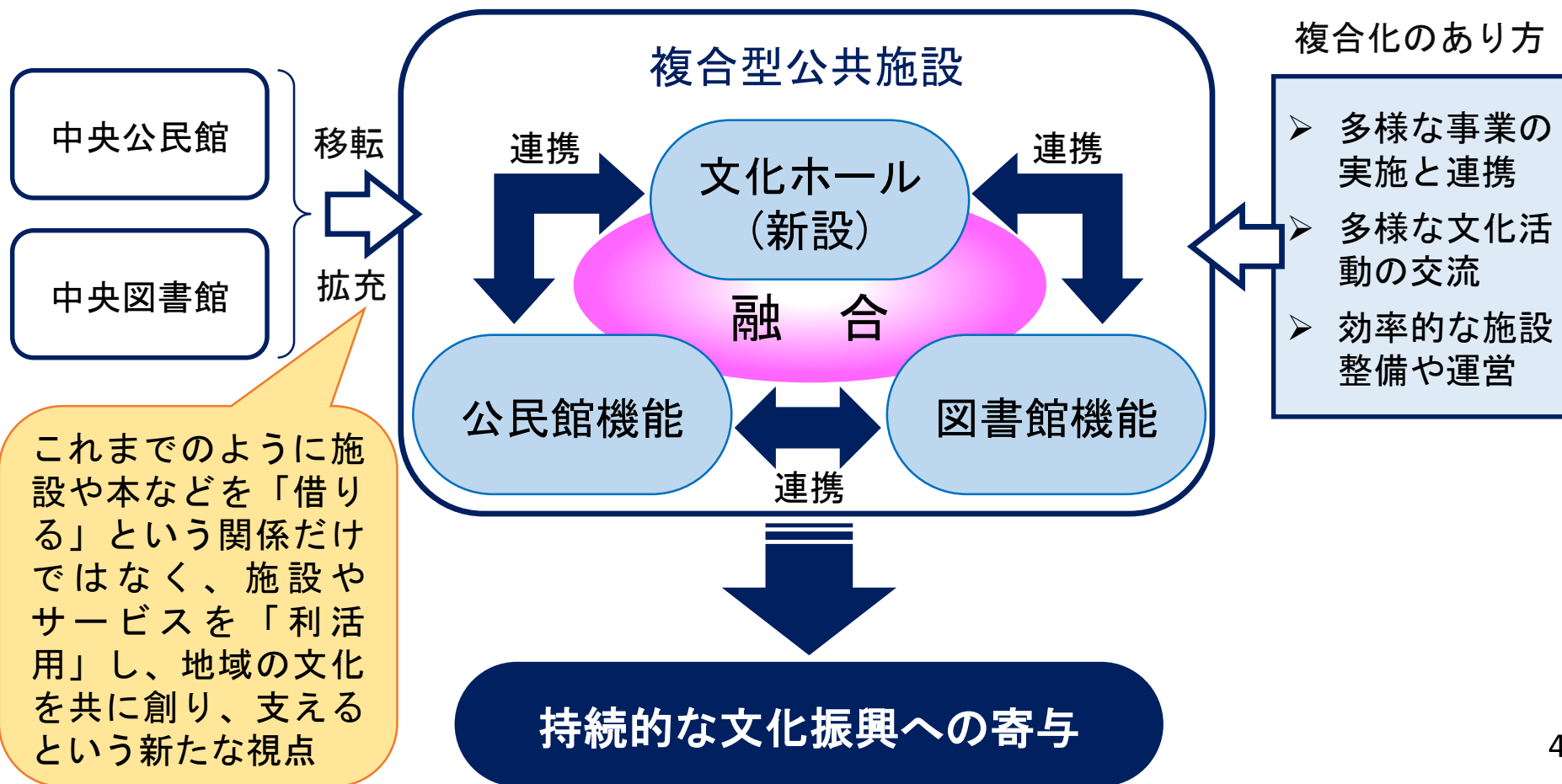
- いつでも誰でも文化を楽しむことができる「“市民”と“文化”をつなぐ施設」
- 日常的に文化を楽しむことができる「“暮らし”と“文化”をつなぐ施設」
- 文化でまちを彩る「“まちづくり”と連動した施設」



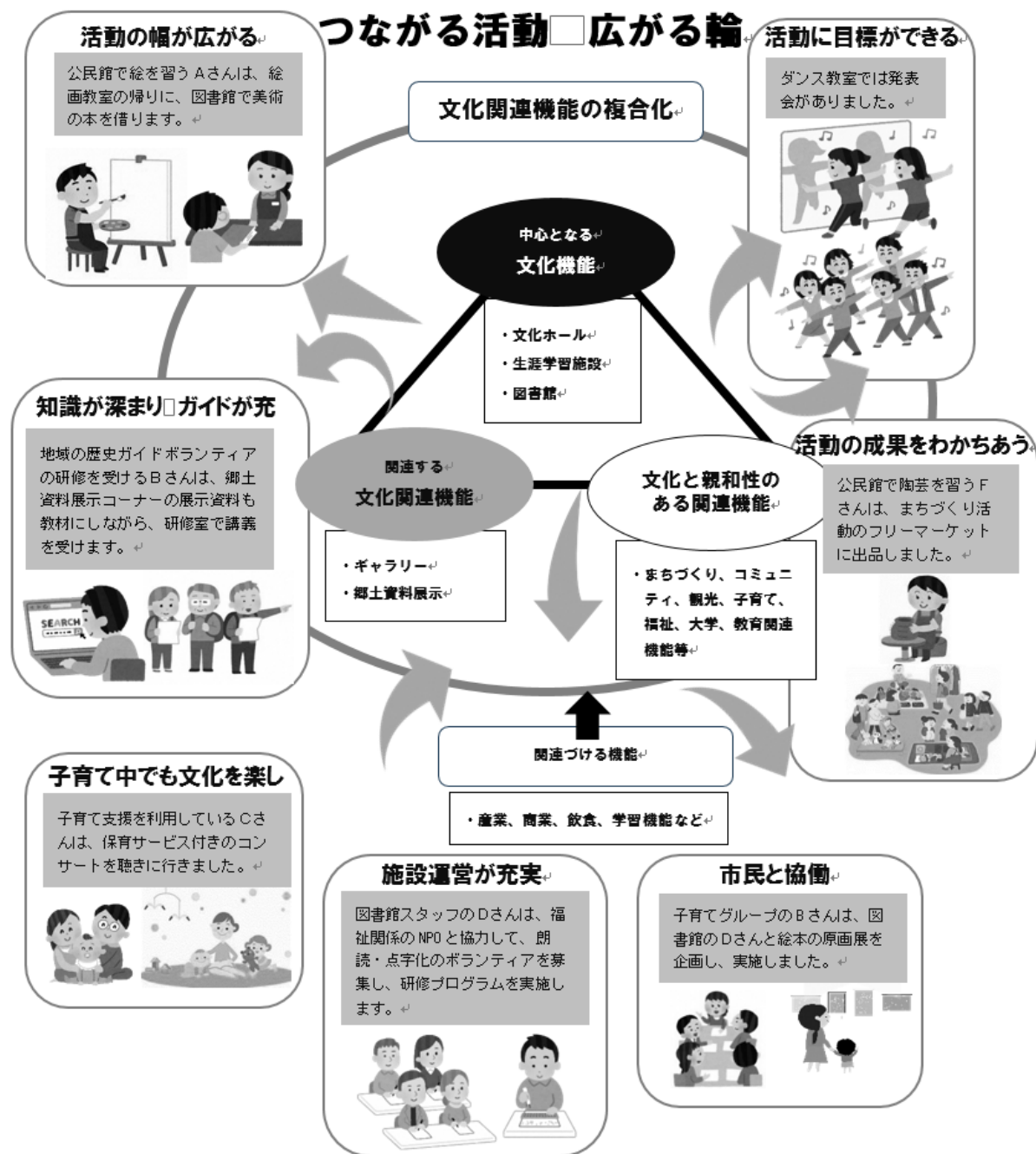
施設の複合化及び連携の考え方

個々の機能の充実とともに、各機能の連携や融合により、市民の多様な文化ニーズに対応し、新たな文化の創造に資する施設として整備し、持続的な文化振興を図ります。

- 中央公民館と中央図書館の移転・再整備に伴う機能の充実
- 事業の連携や多様な文化活動の交流など、複合化のメリットを活かした施設運営
- 複合化による有効利用(諸室の共有化)と整備・運営に係るコスト削減

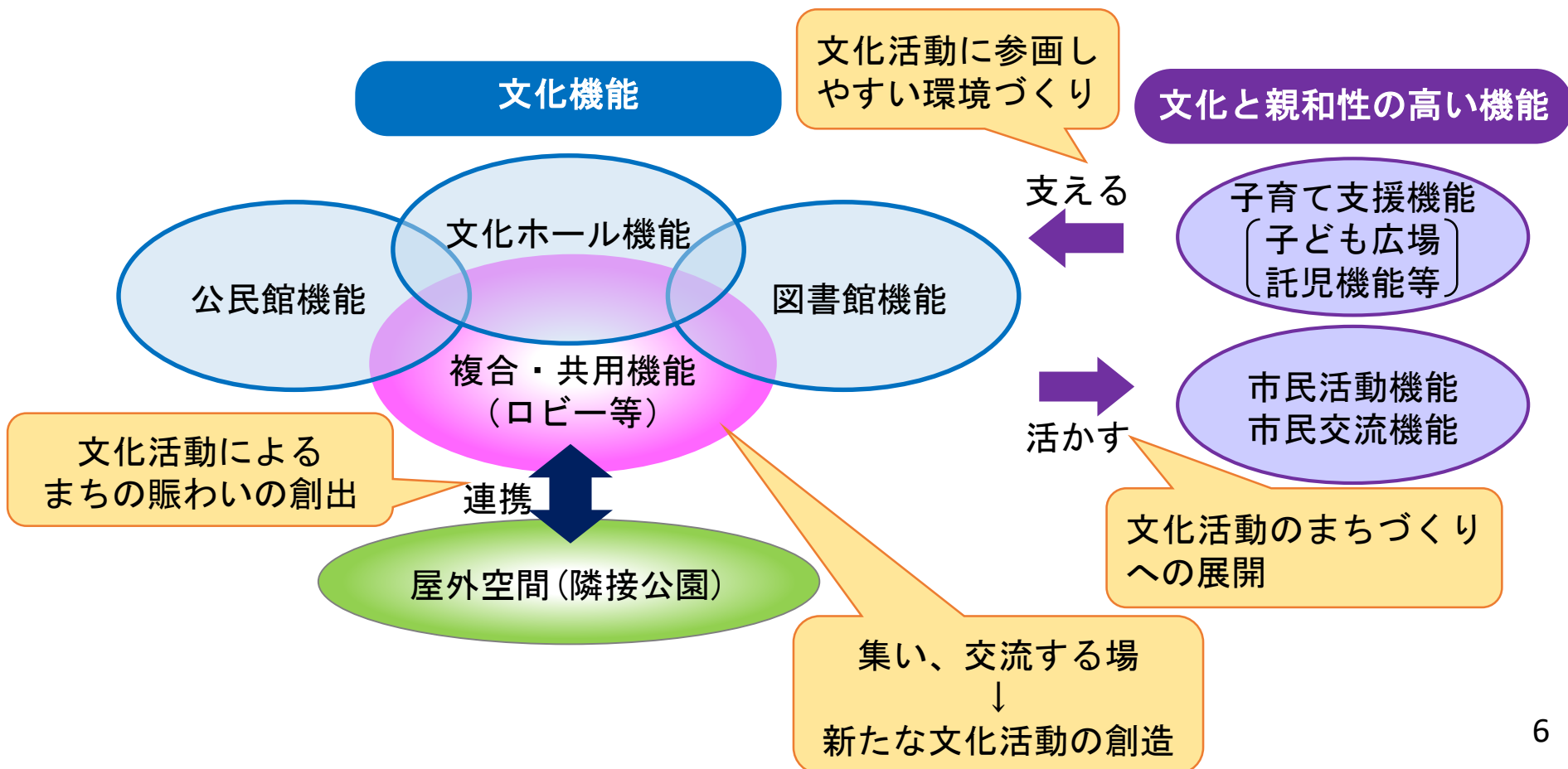


複合型公共施設が生み出す 新しい文化のかたち



複合型公共施設の構成

- 子育て支援機能の併設による「誰もが文化活動に参加しやすい環境づくり」
- 市民活動機能や市民交流機能の併設による「文化活動のまちづくりへの展開」
- 施設を訪れた市民がいつでも、集い、交流することで新たな文化活動が創造される「“ひろば”として機能する共用空間(ロビー等)」
- 屋外空間(隣接公園)との一体的なイベント等による「まちの賑わいの創出」



複合・共用機能としてのロビーのイメージ

“憩いの場”としてのサードプレイスから
“つながり”により文化活動が創造される
フォースプレイスとしての「ひろば」

【参考】

ファーストプレイス：自宅・家庭

セカンドプレイス：職場・学校

サードプレイス：居心地の良い第3の場所（憩いの場）

フォースプレイス：「つながり」を付加した場



ロビーコンサートによる音楽とのふれあい



クラフト作品の販売やワークショップへの参画



ロビーでの出会いと交流

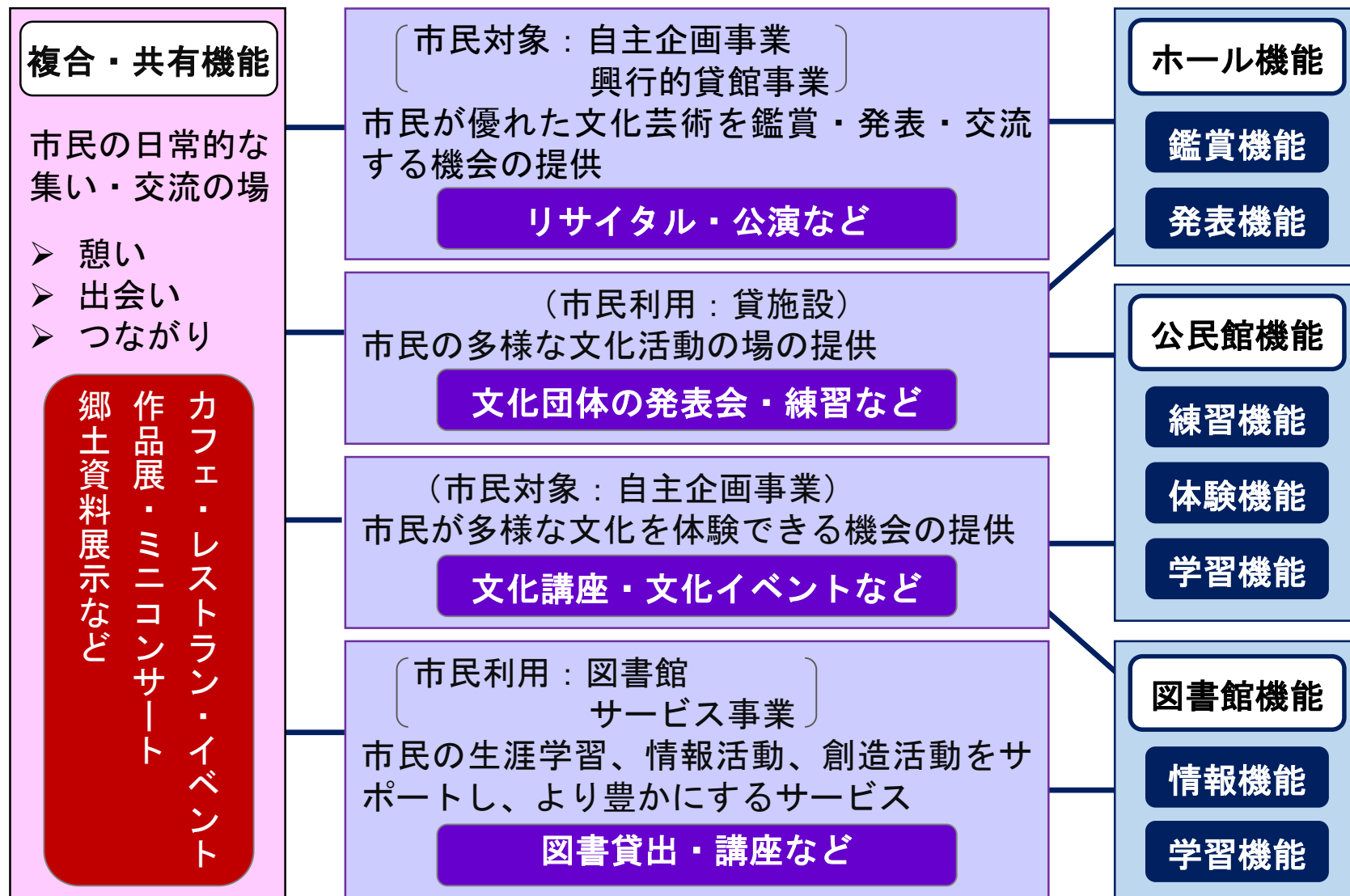


屋外でのイベントとの連携

複合型公共施設の整備イメージ

事業と施設機能

ロビーなどの共用機能は、個々の文化機能の融合や連携を図る場として位置づけるとともに、サードプレイス（居場所）やフォースプレイス（出会い・つながり）として機能し、訪れた市民が文化情報・文化活動に接する場とします。



文化ホールの規模（客席数）

100

200

400

600

800

1,000

1,200

1,500

日常練習

市民活動の発表会

オーケストラや吹奏楽の演奏会

プロモーター利用
興業

小規模コンサート
小規模な発表会

小編成のクラシック
コンサート・リサイタル

京都、大阪へのアクセス
が良く、興行目的のプロ
モーターの利用は少ない

ワークショップ

演劇

京田辺市に求められる
文化ホールの規模（客席数）

落語の寄席

文化祭

公民館機能の多目
的室で対応可能

社会教育事業

成人式

文化ホールにおいて
想定される利用

アマチュアユース
（地域の文化団体等）

利用者

プロユース
（興業会社等）

参加・創造の場

ホールの性格

市民鑑賞の場

大きい

臨場感

小さい

多目的な利用に対応する文化ホール

発表会やコンサートだけでなく、芸術作品の展示やダンス等の多目的な利用への対応

発表会やコンサート時



スターツおおたかの森ホール(千葉県流山市)
客席数506席
1F 移動観覧席280席、可動席58席、車椅子席4席
2F 固定席156席、多目的室(親子席)4席×2

移動観覧席

可動席

1Fの移動観覧席及び可動席を
収納し、平土間となった状況



収納された
移動観覧席

芸術作品の展示やダンス等の利用時

舞台の広さや設備

- リサイタルや室内楽、管弦楽、吹奏楽、合唱、ダンス、バレエ、演劇等、多目的な利用への対応
- 多目的な利用に対応した舞台照明や音響設備、可変式の反響板（音響反射板）の設置
- 楽屋の設置と表（客席）と裏（演者）の動線の分離
- 利用しやすい機材の搬出入スペースや経路の確保
- 車椅子席や乳幼児連れで鑑賞可能な客席の設置



親子席のイメージ
客席後方に壁で仕切られた空間

多様な文化活動に対応する公民館機能

- 市民の文化活動拠点として、美術・工芸、音楽、ダンス、書道・茶道・生け花、料理など多様な市民の文化活動へ対応
- 間仕切りにより規模の変更が可能な会議室（研修室・集会室）
- 会議室（研修室・集会室）への視聴覚資機材等の設備の設置
- 音楽やダンス、バレエ等の練習やリハーサル等とともに、小規模なコンサートや発表会等、多様な利用へ対応する多目的室の設置

多目的室で想定される利用



リハーサル・練習



ダンスレッスン



小規模なコンサート・発表会

図書館における多様なニーズへの対応

- 従来の閲覧スペースに加え、くつろいで読書が可能なスペースや子どもに読み聞かせが行える親子向け読書スペースなど多様な閲覧スペースの設置
- 自習やグループ学習、コワーキングへの対応
- 職員の動線に配慮した閉架書庫と搬入・荷捌きスペース



カフェと一体となった読書スペース（ロビー）



親子向けの読書スペース



屋外の閲覧スペース

グループ学習が可能な閲覧スペース



自習スペース

施設運営

持続的な文化振興のため、文化を「地産地消」する体制や仕組みを検討します。

| 施設運営の視点 | 事業内容 |
|-------------------|--|
| ①地域の文化振興への寄与 | ➤ 文化活動の成果を活かして、文化事業を企画し、実施したいと考える人々や団体の事業実現の支援。 |
| | ➤ アウトリーチ活動をしたい個人や団体と芸術文化活動の出張サービスを求める団体や施設とのマッチング。 |
| ②文化活動団体等と連携した文化振興 | ➤ 地域の文化活動団体によるコンサート等のイベントの開催。（チケットの販売の可否についても要検討） |
| | ➤ 文化活動の成果を活かした教室や講座の開催。（受講料の徴収の可否についても要検討） |
| ③文化を通じた賑わいの創出 | ➤ 施設の稼働率の向上のため、貸館だけではなく、コンサート等の主催事業の積極的な開催。 |
| | ➤ 隣接した公園（屋外空間）でのマルシェ等のイベントと文化活動の融合。 |